

学校の自己評価に対する学校関係者の皆様の意見と意見を踏まえた改善策

この改善策は以下のような手順で作成いたしました。

- ・全教員が「評価する観点」に沿って、今年度1年間の教育活動を振り返り、「学校の自己評価の成果指標」により評価を行った。
- ・全教員の評価結果を平均化し、それぞれの「評価する観点」に沿って、改善策を立てた。
- ・学校関係者評価委員（学校評議員）の皆様へ、学校の自己評価の結果と改善策を示し、それらが適切であるかどうか評価いただくとともに、自己評価及び改善策に対する御意見をいただいた。
- ・学校関係者評価委員（学校評議員）の皆様からいただいた評価と御意見を踏まえ、最終的な改善策を立てた。

*なお、学校の自己評価にあたり、保護者の皆様のアンケート、児童のアンケートも参考にさせていただきました。

*下表の「成果指標」は学校の自己評価の成果指標の平均、「学校関係者による評価」は学校関係者の

学校の自己評価の成果指標

A…できた B…ほぼできた C…あまりできなかった D…できなかった

学校関係者の皆様の評価の対

A…自己評価は適切である B…自己評価は概ね適切である C…自己評価はやや不適切である D…自己評価は適切とは

1 児童一人一人が主役として活躍の場がある学校

	評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
児童の自己肯定感を高めるとともに、一人ひとりの良さを把握し、認め、いじめや不登校のない学校を目指す。					
1	児童一人一人のよさを認め、励まし、賞賛する機会を様々な教育活動の場面で設定できた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員は努力していると思う。 ・口先だけの褒め言葉は子供でも気付くので、表情も伴った言葉掛けをしてほしい。 	日々の授業や委員会活動、学校行事などを通して引き続き児童の良さを認め褒め、励ましていくことを意識していく。児童の具体的な良さを見取り、児童への賞讃などの声掛けを工夫していく。
2	家庭との連携をし、児童のよいところについて情報を提供し、トラブルが起きたときは、共通の認識で指導を行うことができた。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭では気付かない長所を面談で伝えられ喜んでいただけました。保護者と担任の関係の潤滑油にもなっているようだ。今後も続けてほしい。 ・細かく心配りしてもらっている。 	必要に応じ電話や連絡帳などで保護者と連携をとるとともに、個人面談や保護者会場で共通の認識をもつことができるようにする。
3	心のふれあい相談員や生活支援員、または専門機関等との連携を密にし、適切な指導・助言、支援を行うことができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や児童、教師との相性もあるので、心のふれあい相談員、養護教諭のみならず、他のクラスの担任からの児童への声掛けなども有効だと思う。情報は共有してほしい。 	配慮を要する児童について、特別支援コーディネーターを窓口として関係者も交えて話を進めていく。必要に応じて、該当児童に関係する教員、心のふれあい相談員、生活支援員、巡回相談員等で校内委員会を臨時にひらき、ケース会議を行う。教職員1人1人が児童を受容的に受け止め、児童が相談したいときに相談できるような構えをもちかかわる。

4	いじめや不登校の兆候を見逃すことなく、迅速かつ適切に対応することができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり意識しているか分からない。 ・正確な情報の把握がまず必要と思うが「疑わしい」段階からの見守りを願いたい。 ・児童は接する大人により態度を変えることがある。情報の共有が大切。 ・努力していることと思う。結果がよい方向になればよい。 	年3回のふれあい月間を有効に活用するとともに、情報を学年などで常に共有する姿勢を継続していく。生活指導朝会等で、学校全体でも情報を共有していく。
---	---------------------------------------	---	---	---	--

生活指導にかかわる重点指導内容の徹底、道徳教育の充実、異学年間の交流活動等を通して相手の立場を考え行動できる児童を育成する。

1	生活指導上の重点指導内容について、共通の認識をもち、継続して指導をすることができた。	B	A		<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、生活指導主任、看護当番を中心に、その時々重点指導内容を確認する。生活指導朝会で職員の共通理解を図る。
2	道徳の授業を計画的に行い、道徳教育の推進・充実を図り、互いに認め合い尊重し合う心を育んだ。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 ・児童が興味をもつことができる授業がもっとあるのではないかな。 ・副読本だけでなく、国際貢献やボランティアの話題も教材にしたり、子供たちにディベートをさせたりして、時事問題に興味をもたせたり、自ら考えたりする授業をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の時間の指導法について、研修の機会を設定する。(校長先生による授業等) ・道徳教育推進教師を中心に、積極的に様々な研修会に参加し、資料を集め、全体で共有する。
3	気持ちよく生活するために、あいさつや言葉遣いの取り組みを、学級・学年・学校全体で行った。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いは児童によって差が大きい。 ・保護者も来校時、通学途中で児童に声をかける。PTAだよりでも働きかけるとよい。 ・保護者も言葉遣いに気を付けるとよい。家庭も巻き込んだ取組が必要だと思う。地域でも気を付けていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や言葉遣いについて、学校全体の取組を行うとともに、学校だよりや保護者会等で保護者にも働きかけていく。 ・教職員も自ら進んで挨拶を行うようにしていく。 ・職員室の入室の仕方等は敬語の使い方をもう一度徹底する。
4	思いやりや、相手の立場になって考えられるような心が育つように、異学年の交流授業や遊び、近隣の学校・施設との交流の機会を設けた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内では異学年交流の機会があるようだが、登校班の活動は減少傾向にあると感じる。改善策を期待している。 ・学校の集会等の時間に、登校班別の遊びを取り入れたらどうか。 ・登校班での交流をもてる機会を増やしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異学年交流は、今まで通り、学習や行事を通じて行う。 ・児童数が多いので、縦割り班は難しい。 ・6年間を通じて、長い目で異学年交流をとらえる。今でも、1・2年生や5・6年生、1・6年の交流が多いのでこれからも重点的に行う。 ・異学年交流については、地区班の活用も含めて全体で検討する。 ・登校班の組織を活用し、登校班遊びの機会を増やす。

生命尊重の心を育み、集団の一員として規則を遵守できる児童を育成する。

1	日々の教育活動を通じて、いじめ撲滅へ向けた取組を実践できた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学年によって差があるように思う。 ・具体的な施策が知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様、教育活動全体を通じて行う。 ・ふれあい月間等、重点をおいて取り組む機会を設ける。
2	学級経営や学習指導等において、規則を遵守し、規律ある学校生活を送るための大切さを指導する機会を計画的に設けた。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の反省を活かし、規則・規律は年度当初に「北原の一日」等で教職員が共通理解を図り、児童への指導を徹底する。 ・長期休業明けには、児童の実態に応じて、重点的に項目を絞り指導する。

2 教職員が一体となって、児童のために力を発揮しようとする活力のある学校

	評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
指導方法の改善・工夫を行い、児童にとって楽しく、魅力ある授業づくりにつとめることで、基礎・基本の定着、体力の向上を図る。					
1	3年生以上の算数科において、習熟度や学習課題に応じた少人数指導で、児童一人、一人の実態に応じた学習活動を展開することができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年ぐらいになると理解度の差が大きくなっていると思う。クラス分けが肝心である。 ・クラス分けは適切に行われているのではないか。 ・少人数指導は有効である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5分割が有効的と考えるので、指導者の配置が可能ならば、5分割での少人数指導を行う。また、教室の確保をしてほしい。
2	学力調査の結果や昨年度の状況を踏まえ、授業改善推進プランの加筆修正を行い、日常の授業の充実に生かすことができた。	B	A		<ul style="list-style-type: none"> ・今後も児童の学力状況を把握し、実態に応じた授業改善推進プランを作成するとともに、引き続き日常の授業に生かしていく。
3	校内研究を通して、体育科授業での「体力つくりの運動」の取組を柱とし、運動に親しませ、運動の機会を多く設定し児童の体力の向上を図ることができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・体育朝会に期待している。 ・今後も体力作りを行ってほしい。 ・クラスの連帯感も育つので大縄大会は継続するとよい。他校ではなわとび大会等もあると聞いている。 ・運動会の児童の動きを見て、先生方が熱心的に的確な指導をしていると感じた。 ・休み時間等、強制的でなくマラソンなどが広がるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続的に体育の授業、休み時間の外遊び等で意識的に体力の向上を図っていく。 ・学校だけでなく運動委員会の集会の様子や、体育の授業、休み時間の遊びの様子を保護者に知らせる。家庭でも運動の大切さを意識してもらえるように働きかける。 ・体育朝会を行う。
4	児童が、考えたり判断したり表現したりする場面を多く取り入れた学習活動を展開することができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究(平成22年度まで)を生かし、引き続き、書く活動を行ってほしい。 ・時間がない中での取組は難しいと思うが続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた時間であるが、教材研究を怠らず、指導方法を考え、実践していく。
5	様々な学習活動において、計画的に学校図書館を活用することができた。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の図書館利用はできているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出しについては、今後も継続していきたい。 ・図書館支援員を有効に活用していく。
教員一人一人が意欲的に研修に取り組み、自らの指導力、授業力、対応力を向上させる。					
1	互いに授業を見合い、学び合うことで指導力や授業力の向上を図ることができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教員によって指導に差があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業以外にも専科の授業などを利用してお互いに見合うようにする。
2	機会を見付け、積極的に校外での研修に参加し、研鑽を深めるとともに、学んだことを校内の教職員へ還元することができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会等の資料は、共有するとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自が参加した研修会で得た資料を、印刷し配るなどし、学んだことを全体に還元していく。
3	OJT組織を生かして、互いに学び合うことができた。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度計画した案を、より具体化していく。主幹教諭を中心に主任教諭一人一人が責任をもってOJTを推進できるようにしていく。
4	教材研究を十分に行い、教具等を工夫し、効果的な指導を行うことができた。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度同様、会議などを精選し、教材研究に必要な時間を確保する。

5	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各教科・領域の改訂のポイントを理解した上で、指導を行うことができた。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・学年会等で行う教材研究、各教科部で必要に応じて確認をしていく。 ・授業観察時に管理職が必要に応じて指導をしていく。
---	--	---	---	--	---

3保護者や地域の人々等とのかかわりを強固にし、協働して児童を育む学校

評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
--------	------	------------	----------------------------	---------------------

保護者、地域社会、関係機関等との連携を密に行い、開かれた学校づくりを進める。

1	PTAの活動や地域行事、健全育成行事等に積極的に関わりをもち、参加した。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しいなか、時間をいただき、すみません。これからもよろしくお願ひしたい。 ・PTAの行事に参加できる教員は決まっているような気がした。 ・来ていただくと、児童の関心も高まります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、様々な場でPTAや地域の行事に関わりをもつことを大切にする。
2	保護者や地域の人々の力を活用し、教育活動の充実を図った。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年度始め、担当教員が代わる場合が多いので、特に農園は早めに時間をとって、打ち合わせを行ってほしい。草取りには保護者の協力お必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通り、横山さんや高松デイサービスとの交流を行う。 ・学校としての外部講師一覧表を作成する。 ・農園作業日を設定する。農園カレンダーを作成する。
3	学校便りや学年・学級便りの配布、ホームページの更新をして保護者や地域の人々への情報提供をした。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページをもっと活用するとよい。保護者の中にはホームページの存在を知らない方も多い。 ・ホームページのPRをするとうい。 ・学年、学級だよりが、きちんと出されていてありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状通り続けていく。

幼・小・中学校の連携を密にした教育活動を推進する。

1	近隣の幼稚園や保育園との交流の機会を積極的に設けることができた。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな制約をクリアしながら、幼稚園・保育園、中学校の子供たちと交流できると、子供たちが地域のつながりを意識できると良いと思う。 ・この改善策で良いと思う。 ・学区内の幼稚園等の子供か先生に来てもらえると低学年の児童の意識が変わると思う。1年生が案内するというのも素晴らしい活動だと思う。 ・幼稚園、保育園児との体験授業ができるとういと思う。 ・就学时健康診断時に、案内を私、その後の土曜授業等を見学にしてもえるようにするとよい。管理職が話をするのもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園、幼稚園と管理職同士が連絡を取り合い、交流の機会の設定を計画していく。 ・北原小学校の展覧会の際、1年生が招待状をつくり、学区内の幼稚園・保育園にプレゼントするのはどうか。また、可能であれば、展覧会に来てもらったときに、1年生が体育館を案内できるとよいと思う。
2	幼稚園や保育園、中学校の教職員間での授業・保育参観や、交流のきかいを積極的に設定し、共通の理解の下、交流活動を推進した。	C	B		<ul style="list-style-type: none"> ・色々な制約もあり、難しいのではないかな。 ・北原小で研究授業で行う際、幼稚園・保育園にお知らせを送り、可能であれば、見に来てもらうのはどうか。 ・中学校の体験授業はこれからも続けていきたい。

3	隣接する谷原中学校との交流活動を計画的に行うとともに、活動内容の充実を図った。	C	B	<ul style="list-style-type: none"> ・谷原中の体験授業は、5年生に機会があってもよいのではないかと。進路を決める児童もいるため。 ・実現できるとよい。参加者を幅広くするとよい。 ・育成委員会と谷原中学校共催の講演会の内容は、高学年が聴いても良い内容である。そのような機会も活用してはどうか。 ・可能ならば合同地域清掃を復活させてほしい。吹奏楽部の演奏は良い考えだと思える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、谷原中学校と協議しながら、様々な交流の機会を設定していく。 ・谷原中学校の文化発表会の日に見学に行く、谷原中学校吹奏楽部の生徒を音楽集会で演奏してもらおう等の機会を考えていく。
---	---	---	---	---	--

4 児童が安心して、楽しく生活ができる学校

○児童が安心して生活を送るため、学校内外での危機の予測ができた確かな対応ができる。

評価する観点	成果指標	学校関係者による評価	自己評価及び改善策に対する学校関係者の皆様の主な意見	学校関係者の皆様の評価を踏まえた改善策
--------	------	------------	----------------------------	---------------------

健康の維持・増進、体力向上に進んで取り組む活動を行う。生活指導

1	食育について計画的に授業を実践し、指導の充実を図ることができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だよりはいつも楽しく読ませてもらっている。他の保護者の皆さんも読んでいるのでしょうか。子供といっしょに読むようにしている。 ・給食の中で人気のあるメニュー等、いくつかレシピを紹介し、家庭でも子供と話せる機会を設けられるようにするとよい。 ・給食時に一つでもよいので、その日のメニューか食材について、担任が児童に話をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の年間指導計画を確認する。 ・給食指導を通じ行う。
2	全校で体力向上にかかわる共通の目標を設定し、意図的・計画的に活動内容を考慮し、集会等で取り組むことができた。	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・集会は子供主体のものであり、現状を変えなくともよい。 ・学校の共通の目標は、数値目標でなく、大まかなめあてを検討していく。
3	全校で健康安全・衛生に関わる取組を意図的・計画的に行うことができた。(朝会や集会等での取組)	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の虫歯になっている割合、治癒率はどれぐらいなのか。家庭との連携を継続して深めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事や計測の際にも、養護教諭を中心に計画的に行うことができた。来年度も続ける。

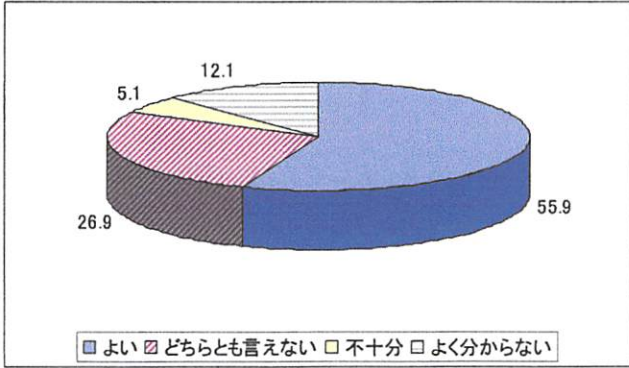
学校の内外での安全な過ごし方に関する指導を徹底する。

1	セーフティ教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室、情報モラル教室等、健康・安全にかかわる指導の場を計画的に設けて児童の安全に対する意識を高めた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフティ教室等、保護者の参加者が少ない。(催しによっては) ・「社会を明るくする運動」の作文コンクール等への参加もできるとよい。 ・PTA主催の「くろねこやまと交通安全教室」を土曜授業の時にできないか。 ・児童の安全に対する意識は、児童アンケートでは守れていると思うものが大半だが、不注意な横断、ゲームをしながらの自転車の走行などが見られる。もっと危機感をもって指導をした方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全て計画的に行い、意識を高めることができた。来年度も続けていく。
2	安全指導日の指導内容について、工夫し、わかりやすく、かつ発達段階に応じた指導ができた。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での安全指導の内容を家庭にも知らせしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学級において、計画的に行っていた。来年度も継続する。

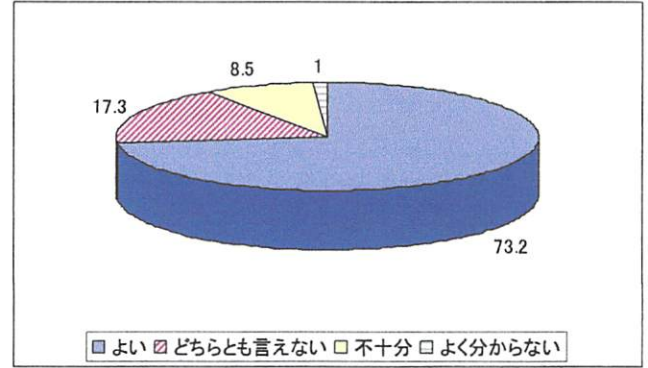
平成24年度 保護者アンケート集計結果（297名 回収率60%）

北原小学校の教育活動について

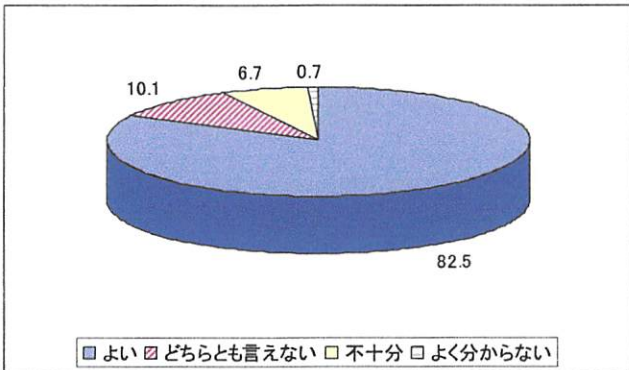
1 児童の良さを認める教育活動



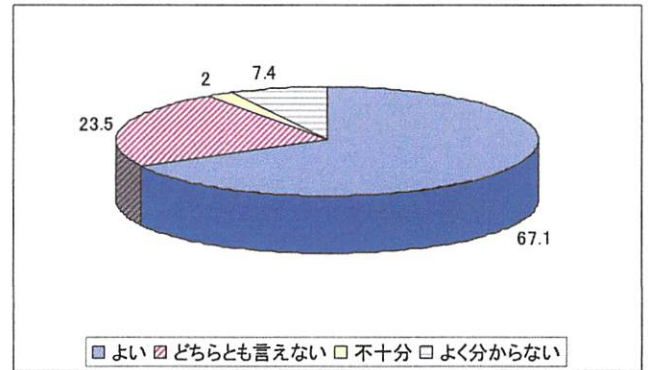
2 学校だより、HP など情報発信



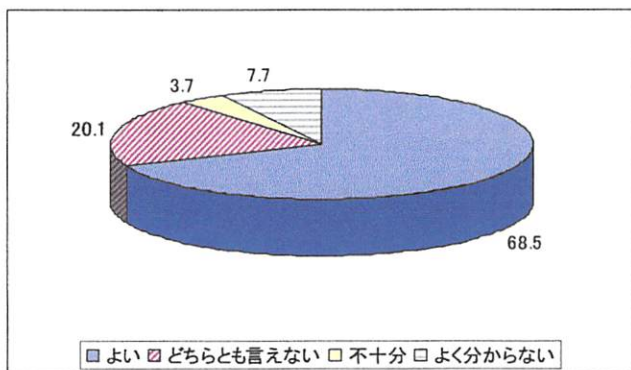
3 学校公開、保護者会等



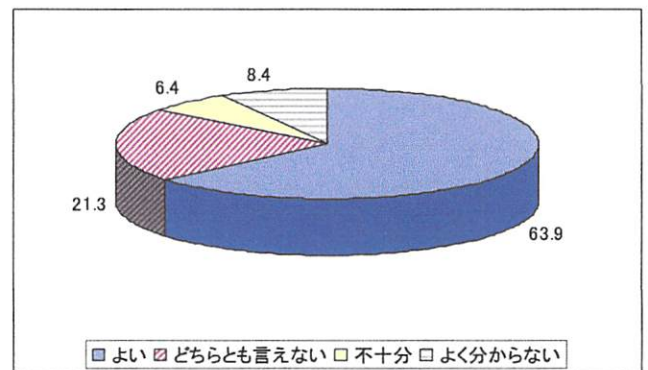
4 学校行事



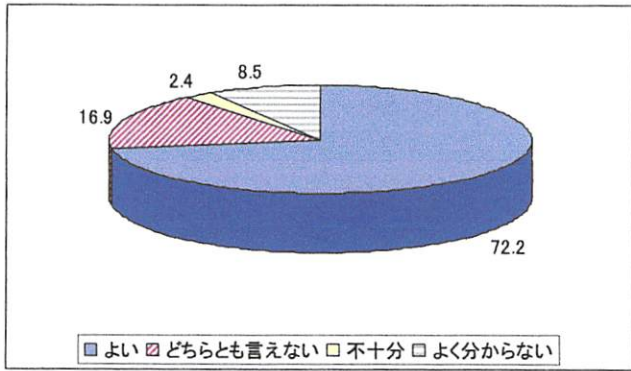
5 環境衛生、健康維持増進



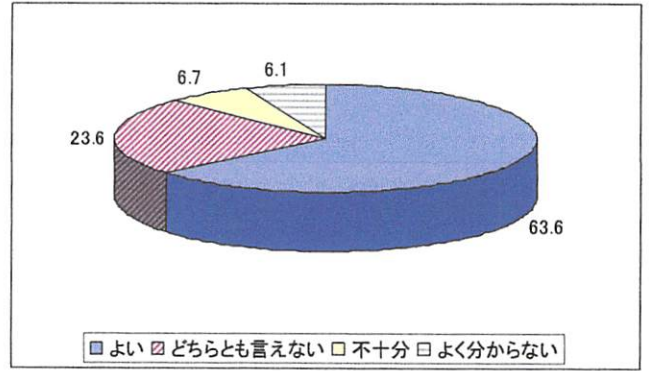
6 トラブル、事故対応



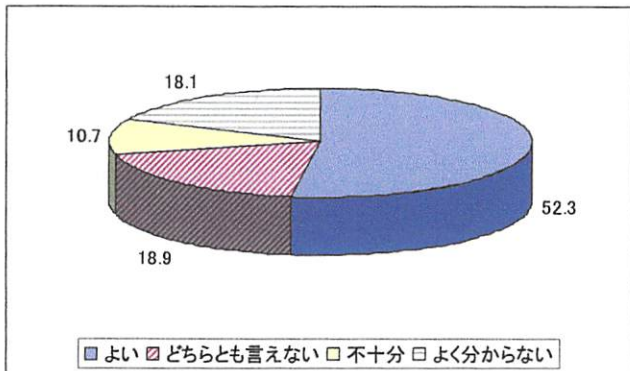
7 安全確保、施設・設備



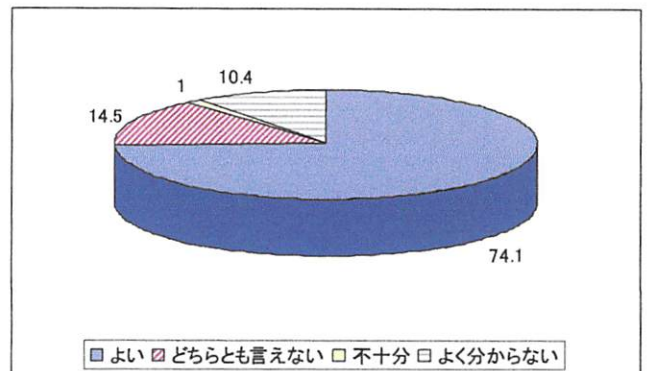
8 きめ細やかな授業づくり



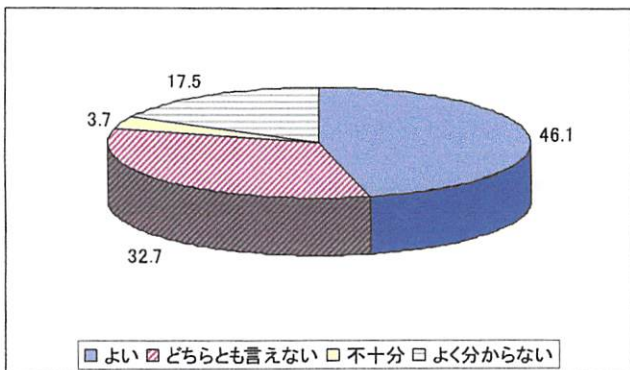
9 少人数指導、外国語活動等



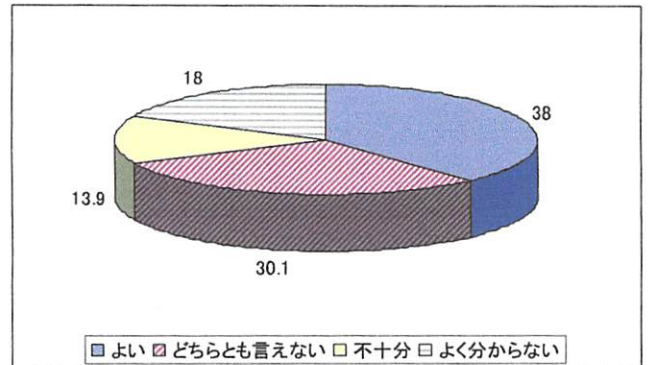
10 地域の特性、教育力活用



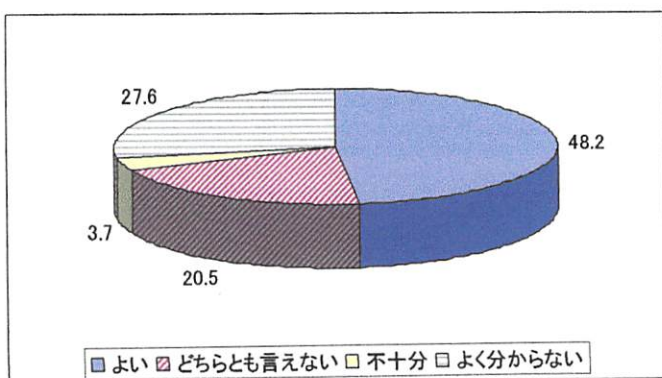
11 体力向上の取組



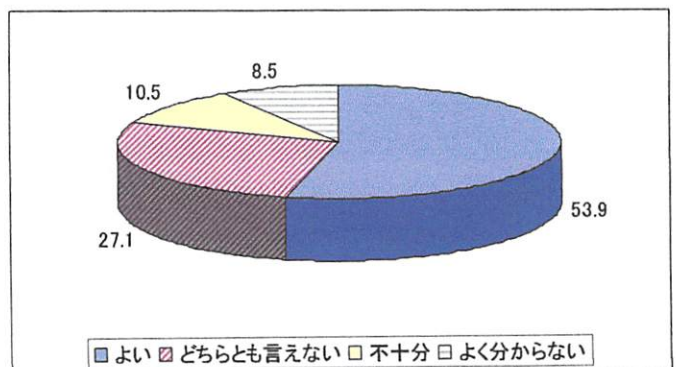
12 いじめ、暴力に対する指導



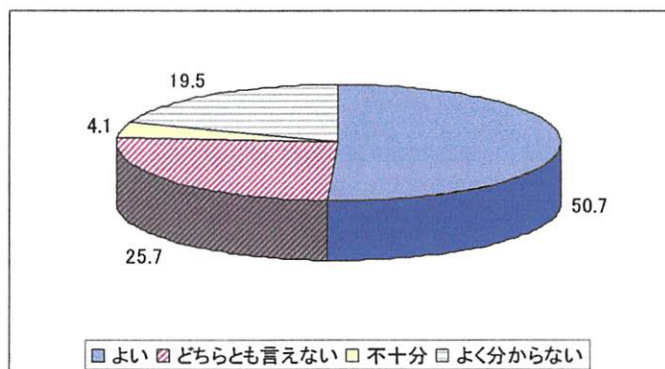
13 相談員、支援員との連携



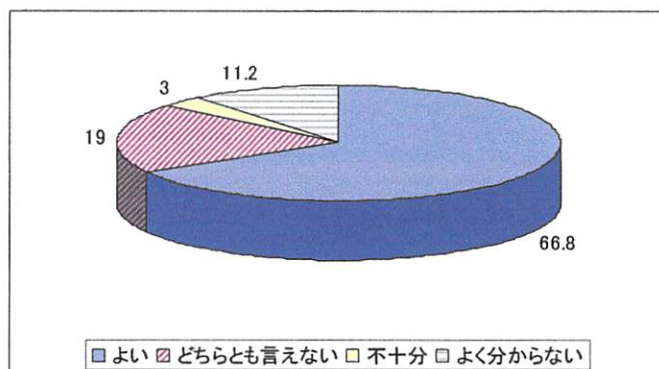
14 挨拶、言葉遣い・生活習慣



15 道徳、心の教育の充実



16 食育の充実

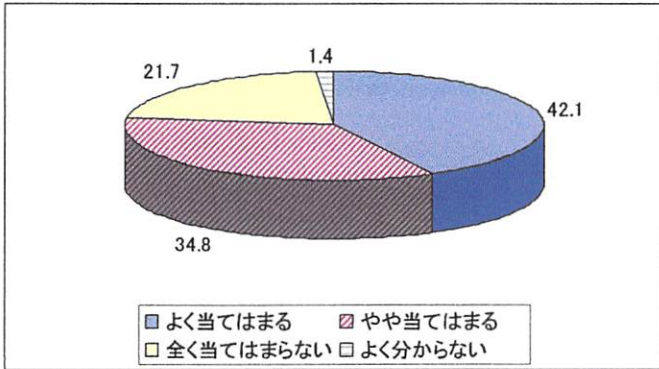


〔考察〕 ここでは「よい」が70%に満たない項目について述べさせていただきます。

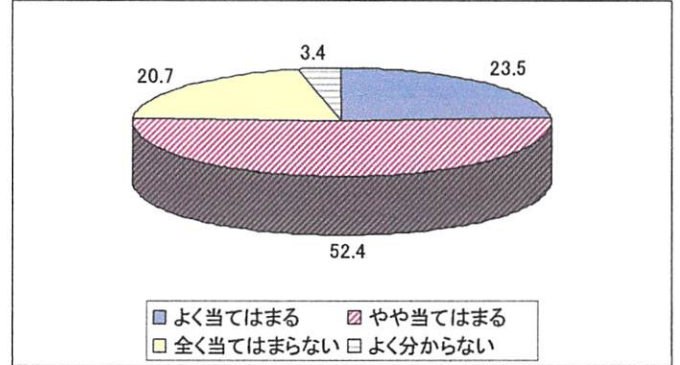
- 1 具体的にどのような場面にどのような活動をしているのかが伝わりづらいということもあるかと思えます。様々な場面で「児童の良さを認める活動」を位置付け、意識的に取り組んでいきます。
- 4 今年度、第二土曜日に登校するようになり、その第二土曜日との関連で学校行事を考えてくださった保護者の方もいらっしゃいました。来年度の行事の設定については、行事ごとにいただいた保護者の皆様のアンケート結果も参考にさせていただきながら、時期、内容を検討してまいります。
- 5 この項目は今年度、新たに伺った項目です。施設・設備の老朽化も少しずつ見られますが、主事を中心に環境衛生を整えてまいります。また、健康増進のための取組も子供たちの体力を向上させるという視点で推進してまいります。
- 6 個々のケースによって、捉え方も様々あるかと思えます。学校内の報告・連絡・相談を確実にしながら、該当する方への連絡を迅速に行うなど、危機管理意識を強くもって対応してまいります。
- 8 学級、学年によって差が見られた項目です。学校全体の教員の授業力向上のために、学年の教員同士の学び合いや様々な研修の機会を設定してまいります。
- 9 算数少人数指導、外国語活動については、該当学年以外の保護者の皆様にはお答えづらい項目であったと思えます。少人数指導については、児童の習熟に応じた指導の充実を図っていきます。
- 11 「よく分からない」と答えた方も多のですが、他の項目と比較し、「よい」が少ない項目となっています。校内研究で体育科の授業の充実を図ってきたところですが、それだけでは十分とは言えません。休み時間の外遊び、体育朝会など、体を動かす機会を多く設定してまいります。御家庭でも体を動かして遊ぶ機会を多くしていただければ幸いです。
- 12 すべての項目のうち「よい」が最も低く、「不十分」が最も高い項目でした。いじめ、暴力に対する指導は、継続していくこと、教職員全体で共通理解を図ること、それぞれの御家庭と連携することが重要です。特に、いじめについては、「いつでも」「どこでも」起こり得るという危機意識をもち、児童一人一人を学校全体で見守り、いじめの未然防止、いじめ撲滅へ向けて、一層、努めてまいります。
- 13 こころのふれあい相談員、学校生活支援員とかかわりがいい方にとっては、答えづらい項目であったと思えます。こころのふれあい相談員は、月ごとに「さくらんぼだより」を発行しています。ぜひ御覧ください。
- 14 「不十分」と答えた方が多い項目でした。自由記述においても「挨拶」「言葉遣い」については、多く御指摘いただきました。昨年度同様、課題として考えている項目です。来年度は、今年度以上の新たな取組を行ってまいります。また、保護者・地域の皆様にもぜひ、子供たちとかかわる際に大切にさせていただきますようお願いいたします。
- 15 「どちらともいえない」「よく分からない」と答えた方が半数近くいました。道徳授業地区公開講座で、道徳教育について知っていただく機会を設けていますが、それ以外でも、学校の取組をお伝えする機会をもつようにしたいと考えております。
- 16 この項目は今年度、新たに伺った項目です。「不十分」という方は少なかったのですが、今後も、給食指導のみならず、様々な教科指導等のなかで食育に取り組んでまいります。

北原小学校の児童について

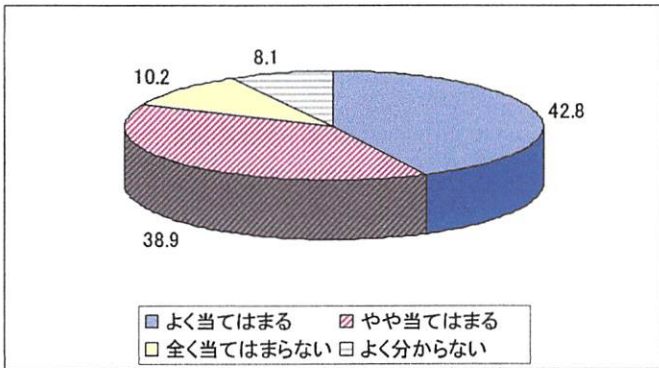
① 挨拶ができる



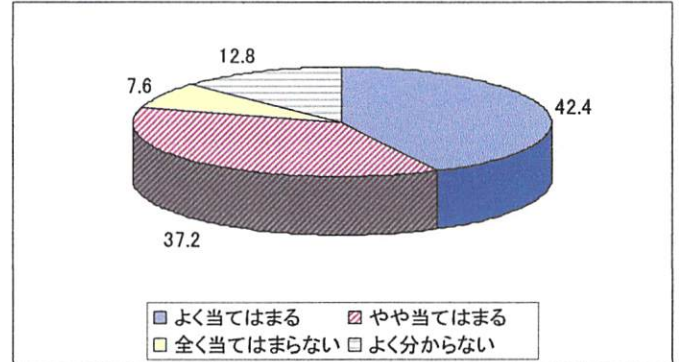
② 適切な言葉遣いができる



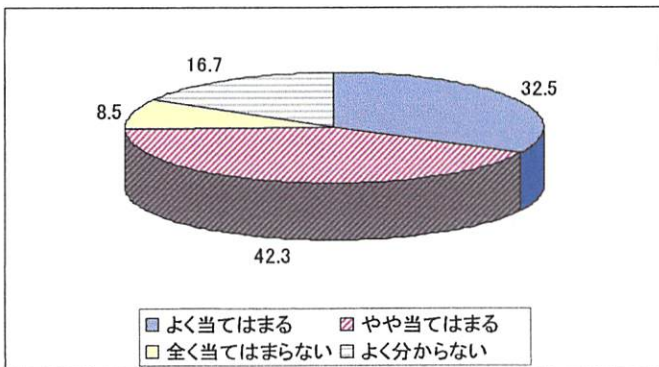
③ きまりや約束ごとを守っている



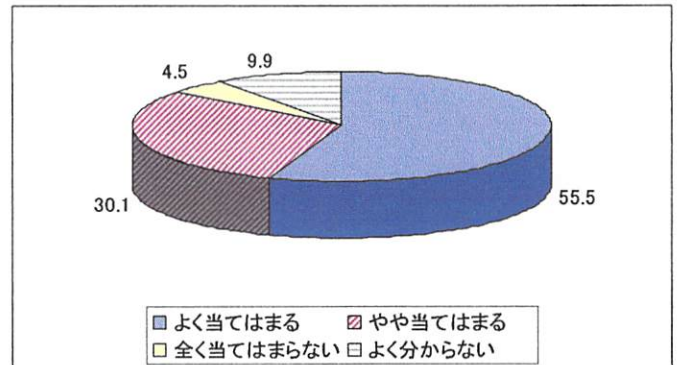
④ 学習に対して意欲がある



⑤ 学習に対して粘り強く取り組んでいる



⑥ 優しい心や思いやりの心がある

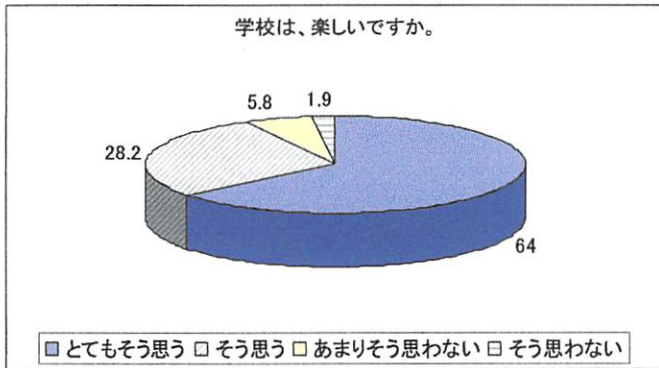


[考察]

6つの項目のうち、挨拶と言葉遣いについてが、前述のアンケート結果、「教育活動14」同様、本校の児童の課題と考えられる結果となりました。学校での取組の工夫とあわせ、地域、保護者の皆様と協力して改善に取り組んでまいりたいと考えております。きまりや約束ごとについても、放課後の遊び方や登下校の様子等を見ても十分とは言えません。学校全体で指導してまいります。こちらについてもぜひ、保護者の皆様も一緒に取り組んでいただき、私ども大人が子供たちに対して範を示してまいりたいと考えております。

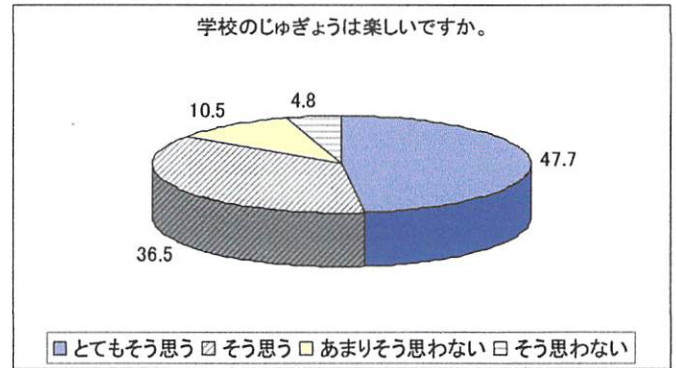
平成24年度 児童アンケート集計結果 (620名)

1 学校は楽しいですか。



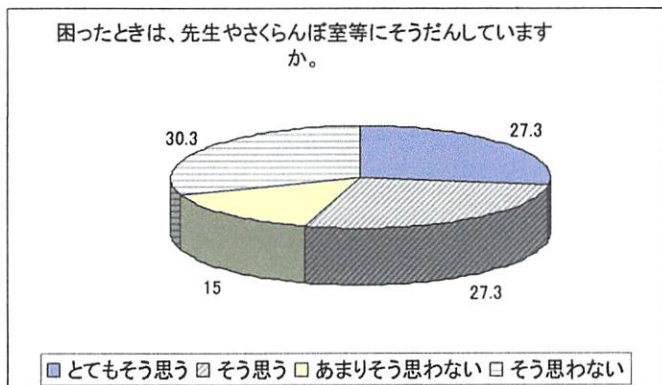
とてもそう思う+そう思う=92.2%

2 学校の授業は楽しいですか。



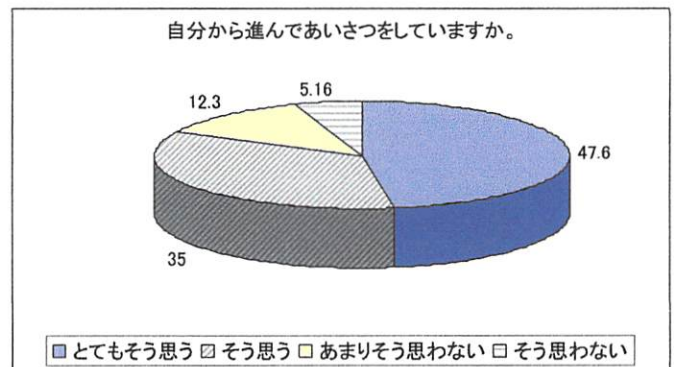
とてもそう思う+そう思う=84.2%

3 困ったときは、先生やさくらんぼ室等に相談していますか。



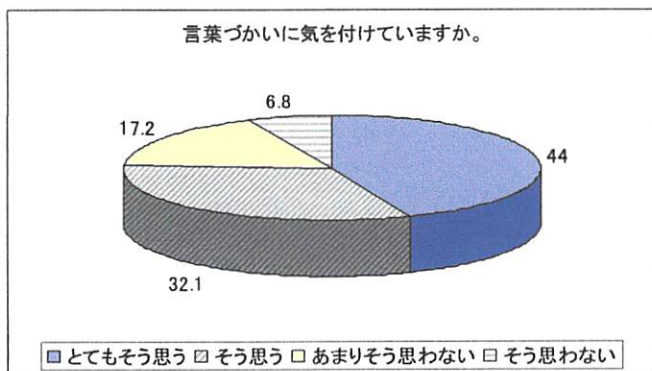
とてもそう思う+そう思う=54.6%

4 自分から進んで挨拶をしていますか。



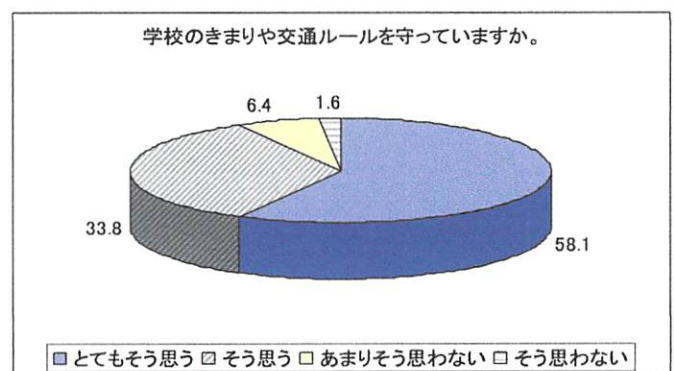
とてもそう思う+そう思う=82.6%

5 言葉遣いに気を付けていますか。



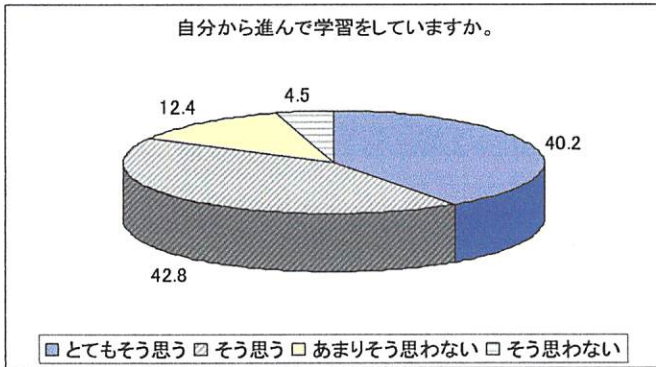
とてもそう思う+そう思う=76.1%

6 学校のきまりや交通ルールを守っていますか。



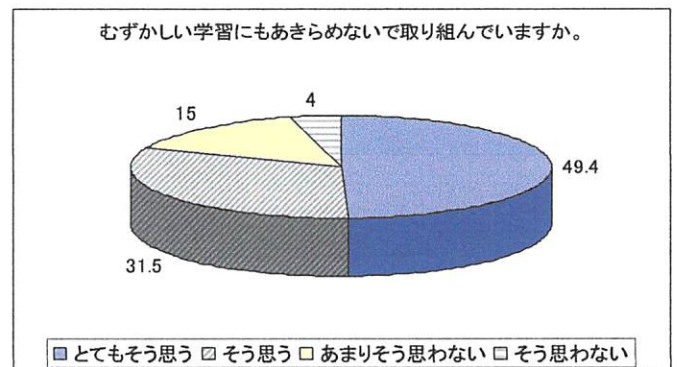
とてもそう思う+そう思う=91.9%

7 自分から進んで学習をしていますか。



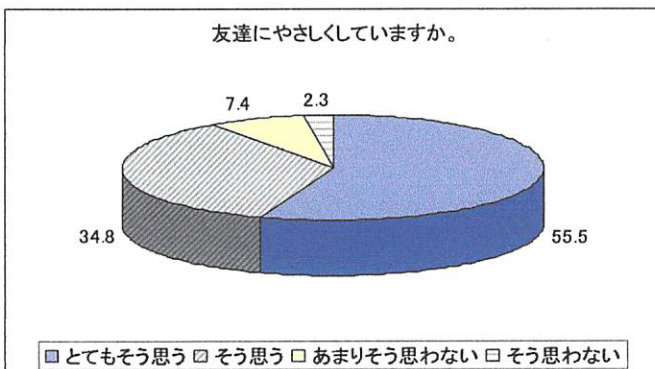
とてもそう思う+そう思う=83%

8 難しい学習にもあきらめないうで取り組んでいますか。



とてもそう思う+そう思う=80.9%

9 友達に優しくしていますか。



とてもそう思う+そう思う=90.3%

[考察] 「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた割合が80%に達していない項目について述べています。

3 「困ったとき」と限定しているため、「困ったことがない」と感じている児童は「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答したようです。反対に全体の3分の1近くの児童にとっては、「さくらんぼ室」が大切な存在になっていることが分かります。

5 自分の言葉遣いがよくないと自覚している児童の割合は多いようです。教職員や保護者の皆様も共に同様のことを考えています。しかし、挨拶については児童の自己評価は低くはありません。挨拶があまりできないという意識が薄いのではないかと考えられます。学校として、保護者の皆様の御協力のもと、子供たちの挨拶に対する意識の高揚を図ることができるよう、一層、指導を重ねてまいります。